

# 旭有機材



旭有機材 環境・安全報告書

2015

## 1. 環境・安全への取り組み ①

「環境・安全」とは環境保全・労働安全衛生・健康保持増進・保安防災・製品安全などの総称で、製品の開発、製造、販売、および廃棄物の処理に至るあらゆる企業活動において、これらにかかわる問題の発生を未然に防止するとともに、問題が発生した場合に適切に対応することを目的として活動を行っています。

### <「環境・安全」に関する経営方針>

旭有機材グループでは「環境・安全に関する経営方針」を制定しています。

## 環境・安全に関する経営方針

### 理 念

当社は環境保全・労働安全衛生・保安防災および製品安全を、経営の最重要課題のひとつとして捉え、常に人や環境に優しい製品を開発、生産ならびに提供することを使命と認識し、事業活動を通して地球環境の保全と安全・衛生の確保に努めます。

### 方 針

環境保全と安全確保は事業活動の基本である。

#### 1. 環境保全活動の推進

製品に関わるすべての事業活動を通して環境保全に貢献します。

#### 2. 安全衛生活動の推進

安全教育や設備安全化および安全衛生管理を通して、労働災害の防止を図ります。

#### 3. 健康の保持と増進

快適な職場環境の実現に努め、健康の保持と増進を図ります。

#### 4. 保安防災活動の推進

安定操業の維持と保安防災の向上に努め、従業員と地域社会の安全を確保します。

#### 5. 製品安全の確保

製品の開発から廃棄に至るすべての段階において、技術向上と製品管理を徹底し、製品の安全性を確保します。

この「環境・安全に関する経営方針」のもとに、環境・安全の構成要素ごとにさらに方針を制定し、理念の実現をめざして日常的に活動を行っております。

## 1. 環境・安全への取り組み ②

### <環境・安全に関する重点課題>

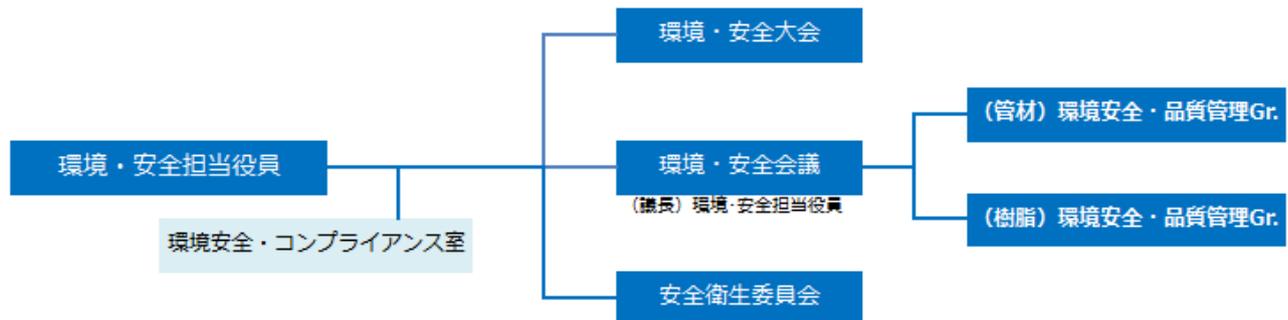
旭有機材グループでは、「環境・安全に関する経営方針」のもとに、以下の項目を2013～2015年度の重点課題として活動を推進しております。

#### 【環境・安全管理に関する重点課題】

	2013年度～2015年度の重点課題
環境保全	①ゼロエミッションに向けた取組み ②地球温暖化対策活動（エネルギー単単位とエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量の削減） ③環境負荷化学物質の移動量と排出量の削減 ④地域貢献活動の推進
化学物質	①生産活動における有害化学物質の適正な管理 ②化学物質による環境負荷の低減 ③製品等に含有する有害化学物質の削減または全廃
安全衛生・健康	①3S活動（整理・整頓・清掃）の推進 ②リスクアセスメントによる設備・機械の本質安全化の追求 ③管理監督者の率先垂範による自主的な安全活動の実践 ④日常的な安全活動（教育、HH・K、KYT、健康保持増進等）の推進
保安防災	①安定操業の維持のための保安防災管理のレベルの向上 ②主要拠点での事業継続計画（BCP）の構築 ③緊急時のための効果的な実地訓練の実施

### <環境・安全の社内推進体制>

旭有機材グループでは、環境・安全担当役員のもとに「環境・安全会議」を設置し、全社の環境・安全活動を統括しています。また、環境・安全担当役員は、環境安全・コンプライアンス室が実施する環境・安全監査を指揮しています。



### <環境・安全大会>

旭有機材では、従業員の環境・安全に対する意識を高めることを目的として、全員参加で自主的な改善活動を展開しています。

今年で11回目の開催となった本大会では、最近労働災害が増加傾向を示していることから、間接部門による視点を変えた安全パトロールを事前に実施したり、大会直前の経営幹部による工場巡視を行って、問題点等を発表するなど、内容に創意工夫を凝らした大会となりました。



## 1. 環境・安全への取り組み ③

### <環境・安全活動の目標と達成状況（旭有機材 単独）>

旭有機材では、環境・安全活動の目標を設定し、継続的な改善活動に取り組んでいます。

[○：達成 △：さらに取り組みが必要]

項目	2014年度の目標	2014年度の実績	自己評価
環境安全・化学物質管理	① 産業廃棄物の削減と有効利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物：16,300ト以下</li> <li>単純処分：240ト以下</li> <li>ゼロエミッション            (廃棄物総量に対する単純処分量を2.0%以下)</li> </ul>	産業廃棄物の削減目標は、ほぼ達成できました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物：16,400ト</li> <li>単純処分：94ト</li> <li>廃棄物総量に対する単純処分量：約0.6%</li> </ul>	○
	② 電気・熱・貨物輸送エネルギー原単位削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>2007年度対比で7%以上の削減            [年平均1%以上]</li> </ul>	貨物輸送エネルギー原単位は7.7%となり目標を達成しました。	○
	③ 電気・熱・貨物輸送エネルギー起源CO <sub>2</sub> 削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>2007年度対比で7%以上の削減            [年平均1%以上]</li> </ul>	生産量減少要因含め約10%削減できました。 (排出量：39,400ト)	○
	④ 環境負荷化学物質の移動量と排出量の削減 (P R T R法) <ul style="list-style-type: none"> <li>第一種：6,200kg以下</li> </ul>	指定化学物質を使用している製品の生産量が増加したため、10,045kgとなり、目標未達となりました。	△
	⑤ ダイオキシン類の排出量の削減 (P R T R法) <ul style="list-style-type: none"> <li>特定第一種：樹脂各工場 1ng-TEQ/m<sup>3</sup>N</li> </ul>	各工場の焙焼方法等の工夫により、管理値を安定的に満たしていました。	○
労働安全衛生・健康	① 労働災害：グループ全体でゼロ	グループ全体で7件（内、休業1件）発生 災害度数率は3.22で目標未達となりました。	△
	② リスク管理：グループで各リスクレベルに対するリスクの低減に努める	各リスクレベルに係る当社の状況を認識し、それらに応じた管理と対策を実施しました。	○
	③ 健康保持増進のためのメンタルヘルスケア活動支援	「セルフケア」と題し、産業医（大学の専門医）による講演会を主要拠点（東京・愛知・延岡）で実施しました。	○
地域との交流	① オープンファクトリー	家族の工場見学を延岡工場と愛知工場で実施しました。	○
	② 地域の祭り	地域の祭りに参加（延岡市・大田原市）または主催（愛知工場）しました。	○
	③ スポーツイベント	宮崎県で開催の「第28回 青島太平洋マラソン2014」などに参加しました。	○
	③ 植樹によるCO <sub>2</sub> 吸収の取り組み	第8回「ゆうきの森」植樹を主催（延岡地区）しました。	○

## 2. 環境保全活動 ①

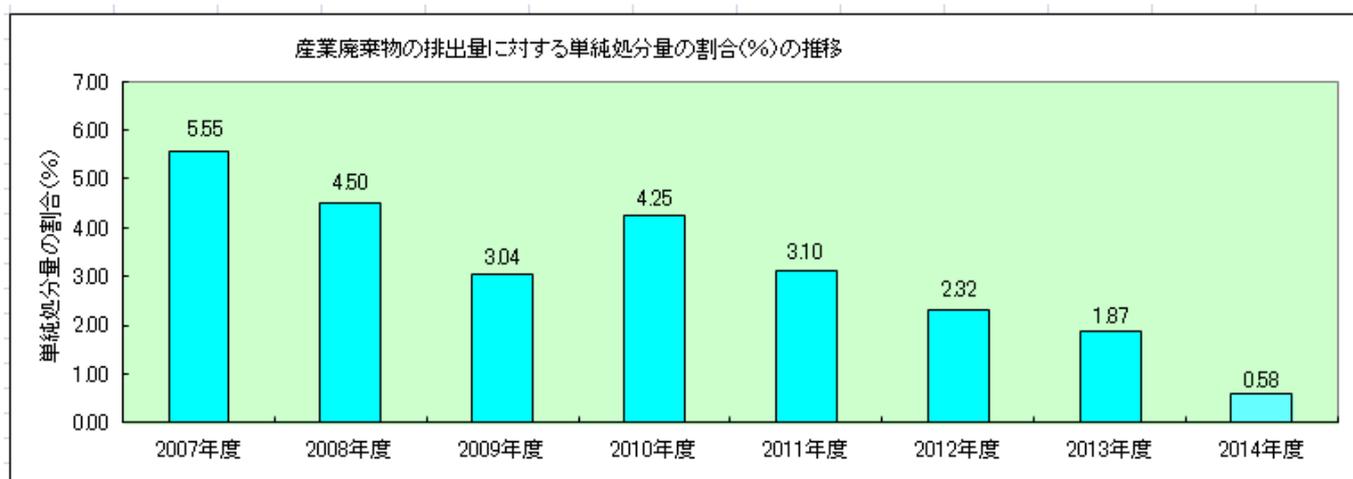
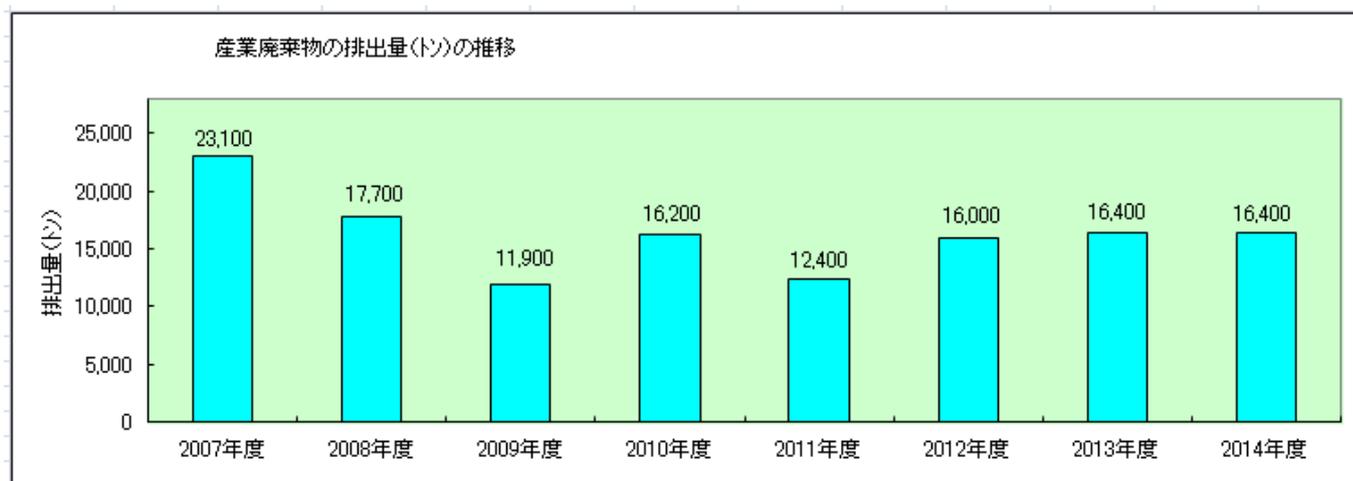
### <産業廃棄物の削減と有効利用>

産業廃棄物の排出量の削減と発生した産業廃棄物は有効利用に努め、単純（埋立）処分される廃棄物の削減を推進しています。2007年度の実績を基準として2014年度は、

- ◎ 産業廃棄物の排出量：29%の削減
- ◎ 単純処分される廃棄物の数量：93%の削減

となりました。

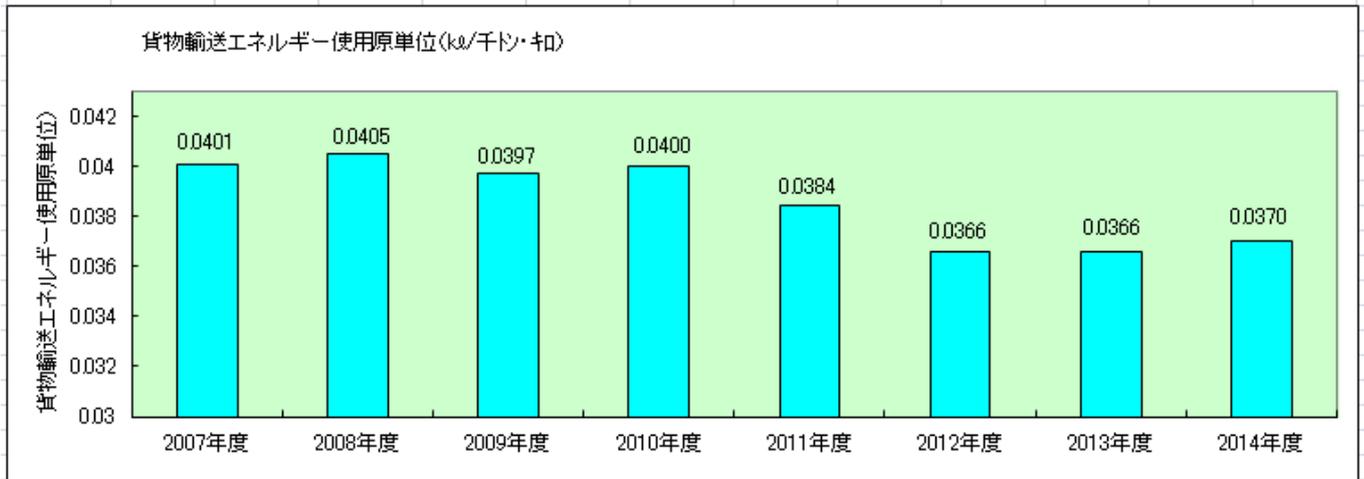
また、排出される産業廃棄物の数量に占める単純処分される産業廃棄物の数量の割合は、2014年度は0.58%となりました。



### <貨物輸送エネルギー使用原単位の削減>

当社は省エネルギー法の「特定荷主」に指定されており、省エネの一環として貨物輸送エネルギーに関わる原単位を中長期的に年平均1%以上削減することに取り組んでいます。

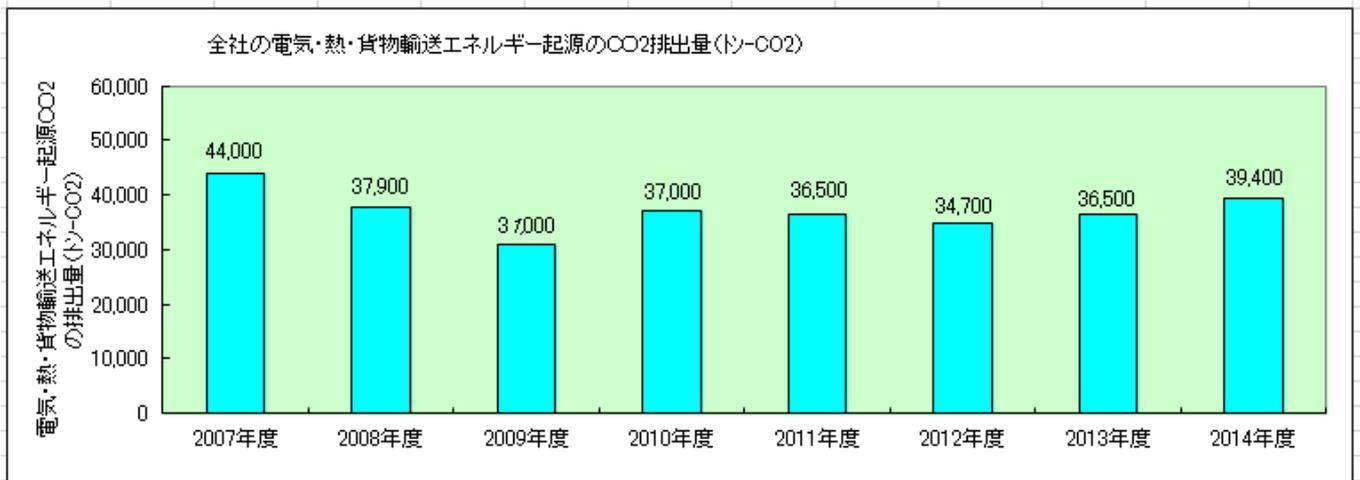
2014年度の原単位は0.0370 (kℓ/千ト・キロ)となり、2007年度の実績を基準として、約8%の削減を達成しました。しかしながら、この3年間は原単位の推移が横ばいであることから取り組みの見直しを図っています。



### <電気・熱・貨物輸送エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減>

全社の電気・熱・貨物輸送エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は、次のグラフのとおりです。

2014年度のCO<sub>2</sub>排出量は39,400トとなり、前年度より増加傾向ですが、基準である2007年度実績と比べ約10%の減少となりました。



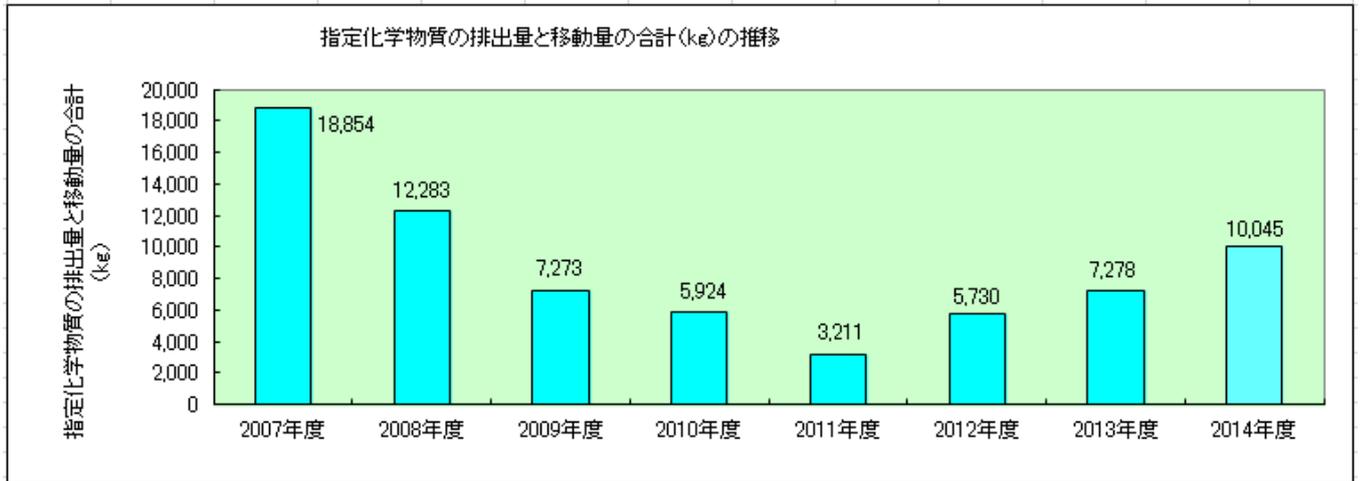
## <指定化学物質の移動量・排出量の削減>

2014年度は排出量492kg、移動量9,553kg、合計で10,045kgとなりました。

P R T R法<sup>※①</sup>の指定化学物質を使用した製品の生産量の増加や管理対象化学物質が増えたことにより2012年度以降、移動量が増加傾向にあります。

各工場での対象となる指定化学物質は下表に記載しています。

※① P R T R法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）



製造所・工場	P R T R法により管理している物質
管材製造所	有機スズ化合物・鉛及びその化合物・アンチモン及びその化合物・ヘキサメチレンテトラミン・フェノール・ジシクロペンタジエン・メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート
愛知工場	亜鉛の水溶性化合物・ビスフェノールA・クメン・クレゾール・1,4ジオキサン・ヘキサメチレンテトラミン・トリエチルアミン・1,2,4トリメチルベンゼン・1,2,5トリメチルベンゼン・ナフタレン・フェノール・ホルムアルデヒド・メチルナフタレン・メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート・リン酸トリノルマル・ブチル・エチレングリコール・DMF・ダイオキシン類
栃木工場	ヘキサメチレンテトラミン・亜鉛の水溶性化合物・有機スズ化合物・ダイオキシン類
広島工場	ヘキサメチレンテトラミン・ダイオキシン類

## 2. 環境保全活動 ②

旭有機材は国や地域の行政機関の環境保全への取り組みに参画しています。

### <環境省の「CO2 削減ポテンシャル診断」による活動>

当社愛知工場は環境省が温室効果ガスの削減に取り組む事業者を支援する「二酸化炭素削減ポテンシャル診断事業」の受診に応募し、それに基づく省エネ活動により活動により2014年度は年間で約200トンのCO2の削減を達成しました。この活動内容は環境省の平成26年度の「フォローアップ調査事例集」で紹介されています。

### <環境省が主催の「Fun to Share」に参加>

当社素材事業部は自動車産業と密接に関係していることから、環境省が推進する低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」に参加しました。「従業員全員参加で、低炭素社会へ」を宣言して、事業活動に関わる従業員全員が省エネの重要性を理解し、月1回の省エネ会議で方策を出し合い省エネ文化を浸透させています。

- (1) 第一は無駄をなくす。
  - ① エアコンの設定は、冬20℃・夏28℃
  - ② 離席時照明消灯
  - ③ 設備の無駄運転の排除
- (2) 第二は設備などの省エネ対策
  - ① LEDの推進
  - ② 設備の高効率化と効率運転化
- (3) その他
  - ① クールビズの実施
  - ② ウォームビズの実施

### <愛知県が主催の「あいちCO2削減マニフェスト2010」に参加>

愛知工場では愛知県が策定した「あいち地球温暖化防止戦略2010」の一環として県内事業者に向けたCO2排出削減の取り組みに賛同し、県が認定・PRする「あいちCO2削減マニフェスト2010」の認定制度に登録しています。

事業者として自主性や創意工夫を活かしたCO2削減の取り組みを宣言し、削減目標の達成に向けて継続的に取り組みランクアップを図っていきます。

### <広島県が主催の「ひろしま環境の日」行動宣言に参加>

広島県では、地球温暖化防止のため、県民一人ひとりのエコの意識を高め、行動をしていこうと、毎月第一土曜日を「ひろしま環境の日」と定める事業を行っています。家庭で、職場で、環境のことを考え、できることから始めようとのことでした。

当社広島工場は、この事業に賛同し「ひろしま環境の日」行動を宣言し、下記の活動を実践しています。

- ① エコドライブ・エコ通勤
- ② エコな買い物
- ③ 省エネ生活

### 3. 労働安全衛生と社員の健康 ①

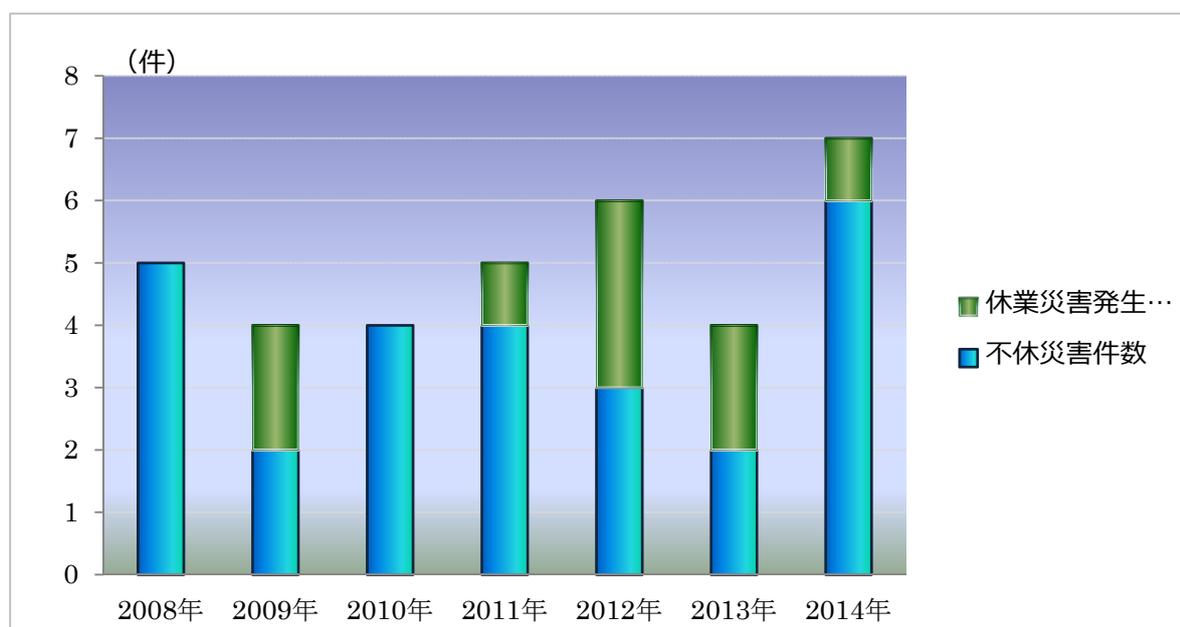
#### <旭有機材グループの労働災害発生件数>

労働災害撲滅に向けて、旭有機材グループでは、管理監督者の職場安全衛生活動への積極的関与を通じて、グループ従業員全員で、ゼロ災活動の推進を図っております。

◇安全衛生の集計期間（1年）＝1月1日～12月31日

		実績値					
		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
休業災害発生件数	単 独	0	0	1	2	1	<b>1</b>
	グループ会社	2	0	0	1	1	<b>0</b>
	連 結 合 計	2	0	1	3	2	<b>1</b>
不 休 災 害 件 数	単 独	0	3	3	2	1	<b>6</b>
	グループ会社	2	1	1	1	1	<b>0</b>
	連 結 合 計	2	4	4	3	2	<b>6</b>
休業災害度数率	単 独	0	0	0.63	1.25	0.66	<b>0.65</b>
	連 結 合 計	0.90	0	0.35	1.34	0.93	<b>0.46</b>
	(参考)製造業平均	—	(0.98)	(1.05)	(1.00)	(0.94)	<b>(1.06)</b>
全災害度数率	単 独	0	1.97	2.53	2.50	1.31	<b>4.52</b>
	連 結 合 計	1.91	1.81	1.74	2.69	1.86	<b>3.22</b>

#### 【旭有機材グループ労働災害の推移】



#### 【労働災害の撲滅に向けた取り組み】

旭有機材グループでは、労働災害の撲滅のために全社的な活動方針を定めてその実践に努めていますが、厳しい結果となりました。2015年は安全組織を見直すなど、労働災害の防止に向けた改善活動を推進しています。

### 3. 労働安全衛生と社員の健康 ②

#### <旭有機材グループのメンタルヘルス活動>

昨今企業が抱える問題の一つとなっているメンタルヘルスについて、メンタル不全の予防と早期発見、またその対処法など、社員の知識習得を目的として、当社の産業医であり本分野の権威である大学病院の教授を外部講師として招き、定期的に全国主要地区にて講演会を実施しています。

2014年度は「セルフケアと復職のノウハウ」をテーマとして、ロールプレイを交えながら事例検討し、講演が進められました。

(2014年度実績)

東京地区	11月	2回
愛知地区	12月	1回
宮崎地区	12月	1回



#### <経営者による安全査察、専門スタッフによる内部監査（国内各工場）>

2014年10月に「整理・整頓・清掃、リスクアセスメント、管理監督者の率先垂範」をテーマに国内の各工場を社長が査察しました。整理・整頓を進めることで隠れていた課題が顕在化し、業務効率改善と安全な職場作りになることを再認識する機会となりました。

また、事業部長による安全査察も5月～6月に実施しています。



## 4. 製品安全への取り組み

### <製品安全に関する基本方針>

旭有機材グループは、経営理念のひとつに「お客様の信頼が命です」を掲げ、お客様に信頼され、満足していただける製品・サービスの提供に努めています。より優れた、より安全な製品・サービスの提供を通じて、人びとの幸福と社会の発展に寄与することをめざしています。

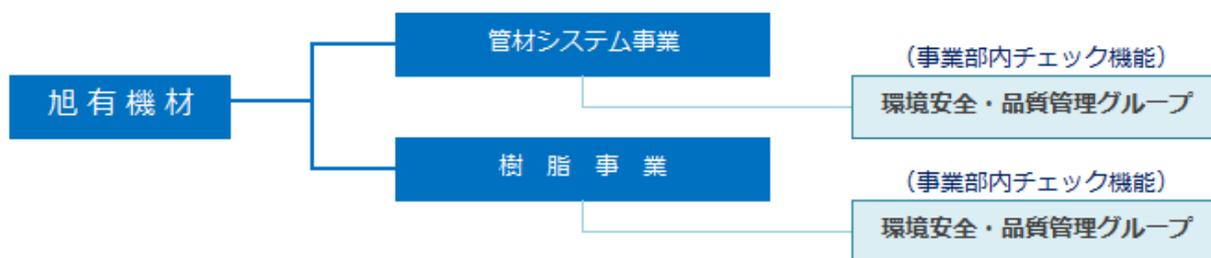
### 製品安全に関する基本方針

顧客の信頼と満足が得られる、より優れた、より安全な製品の創出を通じて、人間の幸福と社会の発展に寄与する。

- 一、顧客の立場で製品を開発すること
- 一、技術を錬磨し、品質管理を徹底して、ものづくりをすること
- 一、製品を正しく安全に使っていただく営業を実践すること
- 一、製品がその効用を終え、廃棄されるまでのすべての段階における環境と安全に与える影響を配慮すること

### <内部品質監査によるチェック>

旭有機材では、事業部単位でISO9001を取得・運用し、それぞれ内部監査を実施しています。監査重点事項を毎年定め、改善すべき事項については是正指示を行い、対策をとっています。



## 5 地域・社会への貢献

旭有機材では、「社会と共に歩みます」の経営理念のもとに、積極的に地域との交流活動を行っています。

### <オープンファクトリー（工場見学）の実施>

延岡市の学生を対象とした社会見学をはじめ、日ごろより当社製品をお使いいただいている国内外のお客様をお招きした工場見学など、より多くの人に工場を知っていただく目的でオープンファクトリーを実施しています。



### <講師派遣による講演会の実施>

地域を育む社会貢献の一環として、社員による出前授業を行っています。2014年度は、小学校から大学まで幅広い世代を対象にした「進路選択に臨む皆さんへのメッセージ」、宮崎県教育庁で働く職員を対象とした「社会が求める資質と能力」、その他当社での実例を基にしたものなど、多岐にわたるテーマで講演を実施いたしました。



### <第8回「ゆうきの森」植樹活動> 4月13日開催

当社では宮崎県が取組んでいる「企業の森づくり」に参画し、2008年から毎年、延岡市北方町で「ゆうきの森」の植樹活動を行っており、今年で8回を迎えました。「ゆうきの森」では10年間で吸収する二酸化炭素は約158トと試算されています。

面積：3.00ha

広葉樹2.5ha、スギ0.2ha、ヒノキ0.4ha

